

理解推進事業

障がい者スポーツ大会に214人が参加
ボランティアと一緒にリレーやつな引きに汗

障がい者とボランティアスタッフなど市民が競技を通じて交流する多摩市障がい者ふれあいスポーツ大会が3月5日、多摩市総合体育館で開催された。20回目となった今回は多摩市視覚障がい者福祉協会や多摩市聴覚障害者協会など市内10チームと個人を合わせた総勢214人が参加。

紅白に分かれリレーやパン食い競争などで熱戦を繰り広げた。

アトラクションにはロンドンパラリンピック日本代表の秋元妙美さんが登場。

ポッチャを紹介した



資源化センター事業

移動の多い時期を控え一段落だが
寒さとの闘いはまだまだ続く

2月の作業実績は13日の可動でおよそ65時間。総選別量は約92トンで、処理量の多かった1月から約2割減と、ようやく落ち着いた。

ただ、これから3、4月にかけては新生活を迎える時期でもあり、身の回りの整理整頓をする機会も増え、びんの排出量が増えることが予想される。



職員相互の協力が作業を支えている

2階には電気リサイクルについての展示コーナーを常設している。電力小売り自由化を控え見学に訪れる方も

講演会報告

2月12日永山公民館にて第14回多摩市障がい者福祉協会講演会が行われた。「自分らしく生きる地域づくり～障がいがあってもなくても住みたい地域とは？」と題して和泉短期大学鈴木敏彦教授の講演と当事者とのリレートークが行われた。講演では、4月施行の障がい者差別解消法について、基となる権利条約も含めて分かりやすく解説。誰しもが「当たり前」に暮らしていくことを考える機会となった。差別に関する解説で「立場を代えて



移動支援事業

お出かけシーズン到来!!
ガイドさんと一緒に春の息吹を感じてみよう

立川駅から10分ほどで歩ける昭和記念公園は花の名所としても知られている。これからの時期は桜や菜の花、チューリップ、つつじなど多彩な植物が楽しめる。障がい者手帳を提示すれば入場料が無料に



2月は、パルテノン多摩で開催された演劇やダンスなど多彩な舞台イベントPocoPoco フェスタやサンリオピューロランド、高幡不動など近場のほか、渋谷のNHKスタジオパークや立川防災館などの利用があった。いよいよ春到来で花見やハイキングなどに絶好の季節。ヘルパーと一緒に外へ出てみる。

加盟団体紹介

- | | |
|---|--|
| <p>アートひまわり
南野3-15-1 5階
☎373-8455</p> <p>NPO 法人あしたや共働企画
諏訪5-6-3-101
☎372-3690</p> <p>NPO 法人暉望(色えんびつの家・グループTOMO)
永山3-9 ☎372-3382</p> <p>NPO 法人くぬぎ
永山3-9 ☎375-2583</p> <p>NPO 法人どんぐりパン
諏訪5-6-3-105
☎371-9236</p> | <p>サンクラブ多摩
南野3-15-1 5階
☎356-0308</p> <p>多摩市視覚障害者福祉協会
聖ヶ丘1-28-26-103
☎372-8051</p> <p>NPO 法人多摩市身体障害者福祉協会
南野3-15-1 3階
☎338-7009</p> <p>多摩市手をつなぐ親の会
落川1234-2 ☎371-8809</p> <p>多摩市聴覚障害者協会
聖ヶ丘1-19-5-201
FAX 372-0939</p> |
|---|--|

考えて！」と訴え、聴講者全員が引き込まれる場面が見られた。リレートークには障がい者雇用枠で株式会社共立アシストに勤務の深瀬麻美さん、就労継続B型事業所あしたや共働企画の利用者である益永稲美さんが参加した。鈴木教授からの質問に今の生活や、夢の実現に向かって行く姿勢を語った。当事者や関連機関、一般市民等4名が聴講。

聴講後のアンケートには、「当事者のお話が胸に響きました」「考えるべき事柄を沢山いただきました」「当事者の話は社会をかえる力です」等お二人のトークに関する感想が多数を集めた。



多摩市障がい者福祉協会



つながりを力に、人と人を結ぶ
月刊多障協通信 ルリエ



relier 4月号

発行：多摩市障がい者福祉協会
多摩市南野3-15-1 総合福祉センター5階
障害者団体共用室

☎042-356-0308 FAX042-311-2327

ホームページ http://tashokyo.com

多障協だより
新たな時に風かおる
出会いと旅立ちの号
2016年3月25日発行
2016年第3巻第3号通巻19号

目次

- 事業報告
- 福祉行政との協働再構築の年に
- 支援センターの一ま
- 障がい者就労支援センター
- 理解推進事業
- 移動支援事業
- 資源化センター事業
- 加盟団体紹介
- 講演会報告

- 連載
- NEWS
- 今月の花
- プログラムカレンダー
- 今月のひと口解説
- 現場からの声

福祉行政との協働再構築の年に

今年には障がい者差別解消法施行年。差別のない社会の実現に期待しています。さて、当協会は行政から受託し、障がい者地域活動支援センターと障がい者就労支援センターを協働で10数年に亘り運営してまいりました。今後は更に中味を充実させ、当事者一人一人に寄り添い、きめ細かな相談支援が出来るよう一層の努力を重ねていきたいと思ひます。行政任せでもない、当事者任せでもない。双方が歩調を合わせてこそ当事者の声が届きます。そのためには、事業運営者としての当事者等団体は欠かせない存在です。両支援センターの運営を軸に、行政と協働体制を築いてこそ、当事者は安心してサービスを利用することが出来ると思ひます。利用者本位の福祉を、行政と強調し、28年度以降に向かって力強く、事業運営に取り組んでいきたいと考えています。(理事長 濱田清吉)

今月の花
桜(さくら)



日本の春を象徴する花。ぱつと咲き、さっと散る姿はよく人生に例えられる。一般に特定の品種を「～サクラ」と名づけ、属や種類を総称して「サクラ」と呼んでいる。多摩市連光寺の旧多摩聖蹟記念館の周辺及び向ノ岡は古くから桜の名所として知られ、市内に多く見られる山桜が市花に選ばれている。サクラ全般の花言葉は、「精神の美」「優美な女性」。身近な処でお気に入りの花見スポットを探してみませんか。

NEWS～高齢障がい者、介護保険利用の負担減へ

国は、障がい者総合支援法等の改正案を今国会に提出し、一部を除き2018年4月1日の施行を目指している。この改正法案では障がい者の高齢化に対応するため、障がい福祉サービスを利用していた方が65歳を超えて介護保険サービスを利用する場合、一定の所得や障がいの程度などを勘案し利用者負担を減らす仕組みが盛り込まれた。現在、障がい者総合支援法に基づくサービスを利用している方の多くは利用者負担が無料に対して、介護保険サービスでは1割の自己負担が発生する。65歳以上の障がい者は介護保険が優先適用されるが、当法案は障がい者にとって一歩前進となる。

※の一まの『HOTほっと』は2014年9月号、本部で発行しておりました『多障協だより』は2014年1月発行の冬号をもって最終号とさせていただきます、2014年9月より2つを統合し『月刊relier』としてリニューアル発行させていただきます。法人ともども今後ともよろしくお願いいたします

※『relier』は「つながり」や「結びつき」を表わすフランス語。人と人、地域と地域をつなげることで真の共生をめざしたいという意味を込め、リニューアルした広報誌にこの名前をつけました

外出プログラム



2月20日の外出プログラムはサンリオオピューロランドへ行った。館内では、ハローキティプレ40周年記念のミュージカルやパレードなどを観賞した。参加者からは「好きなキャラクターにあえて嬉しかった」「乗り物に乗って楽しかった」「ショーが綺麗で良かった」などの感想が聞こえた。



25周年記念の袋(上段)と当日のパスポート(下段両端)、団体特典のバスケス(下段中央)

2月相談件数

相談人数は前年同月比12%増の延べ172名。プログラム参加は、前年同月比19%減の延べ84名となった。

件数は359件。年金申請や福祉的就労の体験等の福祉サービスに関する相談が多かった。

形態別では、見学や通院等の同行が多く、前年同月と比べ倍増した。

新規登録は4名であった。

社会生活力アッププログラム

第15回は多摩市消費生活センターから講師を招き、商品やサービス等消費生活全般の苦情や問い合わせについて講義があった。多発しているネット販売トラブルについては身近な

テーマとあって、質疑応答も積極的に行なわれた。



お知らせ

今月の映画会

9日(土)は『HERO』を上映する。昨夏大ヒットとなった大人気ドラマの劇場版第二弾。スーツを着ない型破りな検事・久利生公平を中心に、東京地検城西支部の個性的な面々が大使館で起きた事件の解決に立ち向かう。

新職員のあいさつ

はじめまして！坊主頭が目印の村松岳郎(むらまつ たけろう)です。の一まに来た際は気楽に声をかけてください。

契約更新のお知らせ

4月1日(金)から平成28年度の利用契約更新が始まります。契約更新に関する問い合わせは4月1日以降にお願いします。※詳細は別紙参照。

実績報告

2月の実績報告

2月の相談件数は341件。1月に引き続き特別支援学校の卒業生が教師と共に来所し、今後の支援について話をした。また、家族と来所し利用登録もスタートしている。

新規就職者は3名。介護施設での清掃作業、特例子会社での清掃業務、就労継続A型事業所での軽作業に採用となった。いずれも過去に就労経験がある登録者だ。

また、地域就労支援センター事業の情報交換の場である障害者就労支援事業連絡会、東京都意見交換会に参加した。

今月のひと口解説

ビジネスマナー編 vol.4 言葉づかいの応用

普段はていねいな言葉を使っても会社の仲間が嫌がる言葉をつかったために不信感を持たれてしまうことがあります。会社でつかってはいけない言葉を紹介し、

①大声を出したり、どなってしまう仕事を教えてもらってうまくいかないとき「できない！もうやだ！」と大声で叫んでしまう。

②乱暴な言葉を浴びせる上司や同僚から注意をされたときに「うるさいバカ」「このクソジジイ」と言う。

大声を出したり乱暴な言葉を使わないために、穏やかな気持ちを持つことも大切です。



あなたはどちらのイサムくんと一緒に働きたいですか？

就労支援センターの契約更新について

センターの利用は4月から翌年3月までの年度契約となっており、引き続き利用される場合は、契約更新の必要があります。3月末までに手続きをお願いします。

働きたい気持ちを応援してくれる強い味方

地域障害者職業センターは、障がい者の就職に関わる、さまざまなサポートをしてくれる公的機関で、全国47都道府県に設置され、東京都では、上野にある本所と立川駅から歩いて7、8分のところにある多摩支所の2カ所サービスを展開している。働きたいが、どんな仕事に向いているのかわからない。事務といっても幅が広いので、具体的にどういう能力が必要なのかわからない。こんな悩みを持ったことはないだろうか。職業センターでは、そうした一人一人の能力や適性についての検査や助言を行なっている。また、実際に就職してからも、必要に応じて専門スタッフを職場に派遣し、仕事のやり方や環境の調整を行なっている。もちろん、職業センターだけでは十分なサポートが出来ないので、就労支援センターやハローワーク、クリニック等の関係機関と連携して、みんなで「働きたい」気持ちを支えているのだ。

東京障害者職業センター
多摩支所
〒111-0041
東京都台東区元浅草3-18-10 上野NSビル7F
TEL: 03-5246-4881 FAX: 03-5246-4882
E-mail: tokyoctr@jeed.or.jp
開庁日時: 8:45~17:00(土日祝、年末年始休暇を除く)



利用者の声 vol.6

株式会社ハートフルアーク

現場からの声

国道16号からほど近い運送会社の一室で22名の障がい者が働いている。4°Cホールディングスを親会社に持ち、2012年7月に設立。当初は6名のメンバーでスタートした。店舗や本社に点する誰かがなくてはならない単純作業を切り出し、本業に沿った仕事を提供している。店舗と直結した作業をすることにより誰の役に立っているかが実感できることがモチベーションにつながると考え、年1回、店舗や本社訪問で自分達の仕事を確認している。指導においては指導員が先回りせず自分で考えるプロセスを大切にしている。自分の成果物を自分で確認し、ミスを見つけるという取り組みもその一つだ。「自分が任された仕事に責任感を持って行う社会人としての視点を持ち、一人ひとりが出来ることと出来ないことを元に仕事を割り当て、出来ない仕事も自分なりの努力を認め、従業員が気持ちよく働ける環境づくりをしている」と担当者。また「ここは会社であり福祉ではない。必要な配慮を心がけ、グループに貢献しながら皆の成長と一緒に喜べる会社でありたい」と言う。雇用は慈善事業ではない。必要な配慮をする中で社会人として尊重する。それこそが差別のない社会につながると感じた。

株式会社ハートフルアーク
本社: 東京都品川区上大崎2丁目19-10
営業所: 神奈川県相模原市南区大野台2丁目32-1 福山通運株式会社2階
代表者: 米岡勝治
設立: 2012年7月2日
事業内容: ビジネスサポート、店舗支援業務
従業員数: 25名(内障がい者22名)



4°C holdings group

日	月	火	水	木	金	土
ボランティア募集		のーまの受付方法が変わりました		1	1	2
ボランティアを募集しています。各プログラムのお手伝いをお願いします。尚、のーまのご利用者はご連絡ください。(詳細は職員まで)		1月よりののーまの受付方法が変わりました。お名前・来所日時などを記入し、投かんBOXへ入れて下さい。		1	1	2
3	4	5	6	7	8	9
休み	休み		社会生活力アッププログラム		イブニングタイム	利用者ミーティング
			14:00~15:30		17:45~19:30	14:00~15:00
10	11	12	13	14	15	16
休み	休み		リラックス体操		イブニングタイム	映画会
			14:00~15:00		17:45~19:30	『HERO』
17	18	19	20	21	22	23
休み	休み		20スタッフ会議		イブニングタイム	コーラス
			10:00~12:00		17:45~19:30	14:00~15:30
24	25	26	27	28	29	30
休み	休み		リラックス体操		昭和の日	
			14:00~15:00		休み	

普段の暮らしに関すること、障がいや病気のことで、福祉サービスのこと、困っていることがあればご相談ください。☎042-311-2660 ☎042-311-2300(受付は祝日除く火~土10:00~17:00) 住所: 多摩市関戸4-19-5 市立健康センター4F

支援センターの一ま 利用について

就労支援センター 利用について

就労したい方、または就労継続を希望する多摩市在住のご家族の方からの相談を受付けています。相談は予約制です。☎042-311-2324(受付は祝日除く月~金9:30~17:00) 住所: 多摩市関戸4-19-5 市立健康センター4F

思い入れのある曲

だんご三兄弟

世界に一つだけの花

True Dream 前田運世

上を向いて歩こう

オリジナルスマイル

Love Me Do

☆みなさんからのご意見を募集しています